

2019 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類	臨床医学 V	対象学年	5 年次 必修	時間割コード	a71643002-25
授 業 科 目 名	臨床腫瘍学 臨床実習 (Clinical Oncology -principles & practice-, face to face) - がん薬物療法の実際 -				
主 任 教 員	柴田浩行 (教授、臨床腫瘍学講座) 6262 オフィスアワー 17:00				
担 当 教 員	柴田浩行 (教授、臨床腫瘍学講座) 6262 オフィスアワー 17:00 福田耕二 (助教、臨床腫瘍学講座) 6263 オフィスアワー 17:00				
授業の概要 及び 一般目標 (GIO)	<p>1. 一般目標 (GIO) 進行がん患者に対する治療の実際を体験し、必要な知識、技術を習得する。</p> <p>2. 到達目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がん薬物療法の実施に際してのインフォームド・コンセントが取れる。 2. 進行がん患者に対するコミュニケーション・スキルを習得する。 3. SPIKES、または SHARE プロトコールに基づく悪い知らせ (がんの告知) の伝え方ができるようになる。 4. 外来化学療法のシステムについて理解する (レジメン管理、有害事象の管理)。 5. 化学療法における薬剤師、看護師とのチーム医療の実際を理解する。 				
教科書・参考書	<p>新臨床腫瘍学 (南江堂、改訂第 5 版、2018 年)</p> <p>入門腫瘍内科学 (篠原出版新社、改訂第 2 版、2015 年)</p> <p>がん医療におけるコミュニケーション・スキル: 悪い知らせをどう伝えるか (内富庸介・藤森麻衣子著、医学書院)</p> <p>Cancer: Principles & Practice of Oncology, 9th edition (Wolters Kluwer/ Lippincott Williams & Wilkins)</p>				
成績評価の方法	出席、ミニテスト				
その他・ メッセージ等	・午前 8:00 に第二病棟 6 階ナースステーション前に集合				

臨床腫瘍学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田	1. 抗がん剤治療に際して必要なインフォームド・コンセントを学ぶ。 2. 進行がん患者に対するコミュニケーション・スキルを学ぶ。 3. 外来化学療法のシステムを見学する（特にチーム医療の観点から） 4. がん診療における悪い知らせの伝え方（How to break bad news）についてロールプレイを通して学習する。
第 2 回 火曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田	1. 抗がん剤治療に際して必要なインフォームド・コンセントを学ぶ。 2. 進行がん患者に対するコミュニケーション・スキルを学ぶ。 3. 外来化学療法のシステムを見学する（特にチーム医療の観点から） 4. がん診療における悪い知らせの伝え方（How to break bad news）についてロールプレイを通して学習する。
第 3 回 水曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田	1. 抗がん剤治療に際して必要なインフォームド・コンセントを学ぶ。 2. 進行がん患者に対するコミュニケーション・スキルを学ぶ。 3. 外来化学療法のシステムを見学する（特にチーム医療の観点から） 4. がん診療における悪い知らせの伝え方（How to break bad news）についてロールプレイを通して学習する。
第 4 回 木曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田	1. 抗がん剤治療に際して必要なインフォームド・コンセントを学ぶ。 2. 進行がん患者に対するコミュニケーション・スキルを学ぶ。 3. 外来化学療法のシステムを見学する（特にチーム医療の観点から） 4. がん診療における悪い知らせの伝え方（How to break bad news）についてロールプレイを通して学習する。
第 5 回 金曜日 [8:00-17:00] 副題 がん薬物療法の現場を体験する 担当 柴田、福田	1. 抗がん剤治療に際して必要なインフォームド・コンセントを学ぶ。 2. 進行がん患者に対するコミュニケーション・スキルを学ぶ。 3. ミニテスト ・ 14：20～医学医療総合講義